

NPO法人「終活支援センター」

終活の「遅れ人」、ゼロを目指して。

NPO法人終活支援センターは平成15年1月に発足し、超高齢社会における諸問題に対応しています。具体的には、シニアの終活をスムーズに進めるためのサポートをしています。笑顔の街の法律家、行政書士を中心とした団体でもあります。

最近、ニュースで年間孤立死1万7千人以上という衝撃的なものがありました。これも終活がスムーズにできて無い現代社会の問題です。おひとりさまという

状況が相当数になるなか、今後も増えこそはすれ減ることはないでしょう。

終活と一言で言っても、実は、いろいろなことがあります。「見守り契約」から始まり、「財産管理契約」「任意後見契約」「死後事務委任契約」そして「尊厳死宣言書(リビングウィル)」の作成、また、残される家族のための「遺言作成」や「相続手続」もあります。最近では空家対策問題も含まれてきます。

終活の準備や相続手続の遅れや亡くなった後、すぐに発見されないで放置される痛ましい「遅れ人(おくれびと)」、ゼロを目指して、当センターでは、セミナーや無料相談会を開催しています。



▲公民館でのセミナー



▲パリテまつり、アースステイでの無料相談会

お問い合わせ

042-478-7701(有馬)

042-423-8543(中野)

メール: fwht8235@nifty.com

団体登録

(男女平等推進係)

男女平等参画社会の実現をめざして活動するグループを支援します。団体登録をしていただくと、次のとおり施設をご利用いただけます。

活動室

- グループ活動の場や、活動の際の保育室としてご利用いただけます。(無料)
- 登録団体は2カ月前(その他の方は1カ月前)から予約申し込みができます。
- 利用時間 午前9時～午後10時

団体連絡箱

グループで作成したチラシなどを配布できるロッカーです。申請をしていただくと、ご利用いただけます。

愛称「パリテ」とは… フランス語で“平等な”という意味です。

- ◆企画・編集◆ 男女平等推進センター企画運営委員会
- ◆発行◆ 西東京市生活文化スポーツ部 協働コミュニティ課 〒202-0005 西東京市住吉町6-15-6 住吉会館内 ☎042-439-0075
- ◆企画運営委員会委員◆ 伊東隆志、白井香澄、田崎吉則、田村悠、中村隆敬、松尾友治、吉田朋子
- ◆制作◆ 株式会社ドゥ・アーバン
- ▶ご意見、ご感想をお寄せください。情報誌「パリテ」は西東京市のホームページからもご覧いただけます。
<http://www.city.nishitokyo.lg.jp>



編集後記

大地震そのものだけでなく、その後の避難生活においても、いかに女性や子ども、老人、病人などそれぞれの尊厳を保ちつつ生活していけるかを個人個人が考えなければ避難生活が簡単に崩壊すると感じる編集となりました。
伊東隆志

災害に遭って避難所で過ごす時、「いつまでこれが続くのだろう」という心細さや不便さに、誰もが緊張や不安を感じると思います。障害者差別解消法のお話にもあるように多様性を受けとめた配慮が大切だと感じます。
中村隆敬

今回の特集記事は、「防災」がテーマでしたが、企画運営委員会中、「西東京市の防災対策はどうなっているのかな?」と地元の現状を知りたくなりました。震災はある日突然やってくるので、日頃からしっかりと備えておきたいものですね。
松尾友治

避難所に女性リーダーがいなかったら、とても不安ですし、多様な方々を互いに思いやるのが大切ですね。日頃の備えとして、まずは我が家の水と食料とトイレ用品のチェックから始めたいと特集を読んで思いました。
吉田朋子